

第 122 回古民家歴史部会・歴史探訪

「新・東海道の宿場探訪シリーズ・第 17 回」

平成 29 年 11 月 1 日(水) 「間の宿・茅ヶ崎 2」

*集合：茅ヶ崎駅(改札口) 9 時 50 分厳守同時出発

*解散：平塚駅

文責:神田恵仁

- ①**黒松切株**:江戸時代に形成された東海道の松並木。茅ヶ崎市内に植樹された中でも一番大きい樹齢 200 年以上といわれるクロマツがここにありましたが、平成 21 年に腐朽のために伐採されました。市民の強い要望により、平成 24 年 4 月に切り株がモニュメントに生まれ変わり、現在も国道 1 号線を見守っています。
- ②**円蔵寺**:真言宗高野山末の寺院。境内の乃木將軍像の脇には護国忠魂碑が建っています。忠魂碑の右側に水師營のなつめの木、その右に水師營の会見碑などがあります。203 高地「血染めの岩」の案内とその岩石が安置されています。
- ③**第六天神社**:7 月海の日に浜降祭が行われる。早暁の茅ヶ崎海岸に近郷より 30 基以上の神輿が集まる勇壮な祭り、県の無形文化財に指定されています。
- ④**間の宿南湖**:茶屋町とよばれるほどの大きな立場があったところです。
- ⑤**鶴嶺八幡宮鳥居**:赤い鳥居があるが、ここから約 1km が参道でその先に本殿があります。
- ⑥**南湖の左富士**:東海道を江戸から下ると、富士さんは常に右側に見えますが、茅ヶ崎のここと静岡県富士市の吉原の二か所で、急カーブのために左側に見えます。そのため珍景として浮世絵に描かれたりしてきました。町歩きでも人気のスポットです。
- ⑦**新明神社**:ここには、かつて、陰陽師安倍晴明の井戸があったと云うが国道拡幅でなくなった。現在境内には、「清明井戸の碑」と厄神大権現の石造物があります。
- ⑧**旧相模川橋脚**:旧相模川橋脚は、歴史遺産(史跡)としての重要性に加え、関東大震災の地震状況を示す天然記念物としての面を有しており、茅ヶ崎市の重要な地域遺産として高く評価されています。
- ⑨**上国寺**:日蓮宗の寺院。茅ヶ崎市指定重要文化財の「木造日蓮坐像」が安置されています。
- ⑩**信隆寺**:日蓮宗の寺院。本堂は平成 10 年に新築され境内には茅ヶ崎市指定文化財に指定されている木造日蓮座像が安置されています。
- ⑪**蓮光寺**:慶長年間の開山した、神戸山流入院と称する高野山真言宗の寺院。境内にある「持ち上げ地蔵」は、地蔵を抱えて軽いと願いが叶うといわれています。
- ⑫**馬入一里塚**:日本橋から数えて十五番目の一里塚で、旧東海道をはさんで南北に一つずつの塚がありました。元禄三年(一六九〇年)に出版された「東海道分間延絵図」には、北側の一里塚の前に井戸が、馬入の渡しに向かう東側に川会所や川高札が描かれています。



ちよんまげ最中
 店の隣りにある蓮光寺のちよんまげ塚にちよんまげで作られた最中。
 弘栄堂
 平塚氏榎本町9-45
 0463-21-2222

『ちよんまげ最中』一口話

昔、寒川神社の神輿をかつく若者と平塚八幡宮の神輿をかつぎの若衆が些細のことからけんかをし、大乱闘の末神輿は川に流されてしまった。このけんかで双方にたくさんのがれを出したが、なんといっても一宮さまの神輿に対して乱暴を働いたことはよろしくないとして、下手人16名に対し死罪の判決が下りた。そして処刑の日、その16名のちよんまげだけを斬りおとして斬首に代えた。『罪を憎んで人を憎まず、心改めた若者を殺してはならじ』と災い転じて福となす名代官の処置に16名は勿論ならびる村民も涙をかきくれたと云う。この事件は天保9年5月5日、いまも蓮光寺に16名のちよんまげを埋めた「ちよんまげ塚」がある。



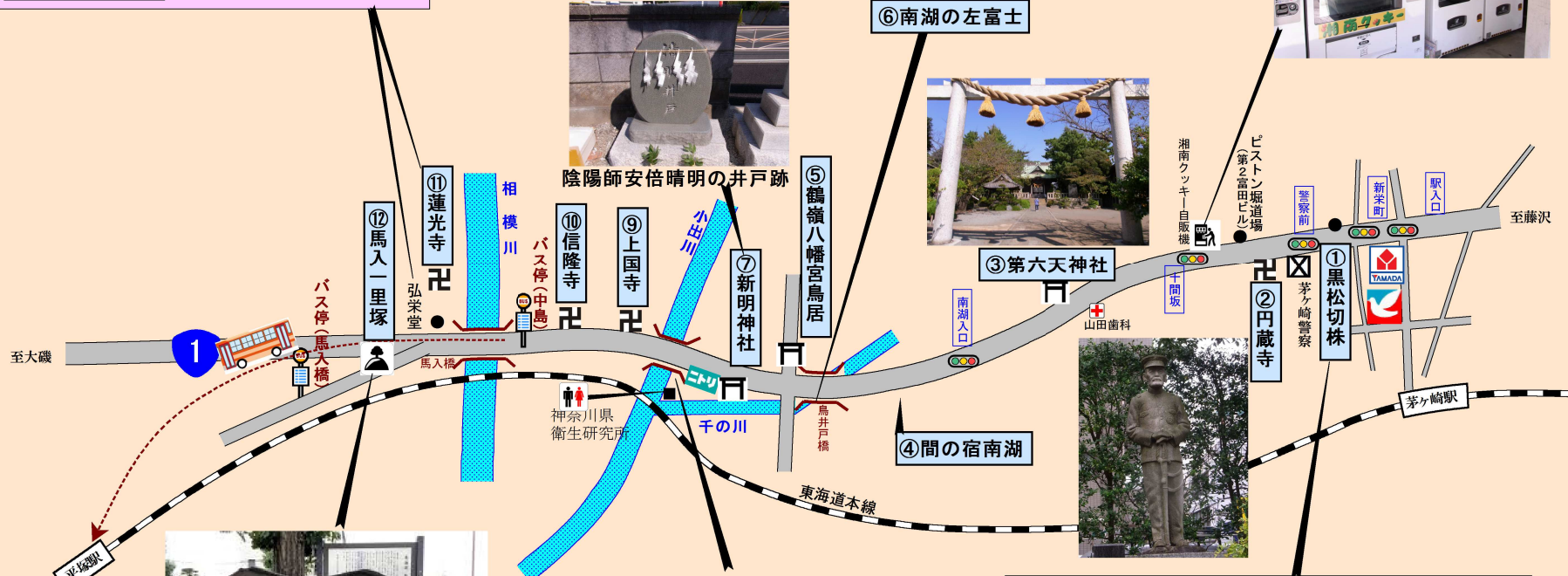
吉原の左富

東海道を江戸から下ると、富士山は常に右に見える。茅ヶ崎のこの静岡県の吉原では急カーブのため左に見える。珍景として浮世絵にも描かれている。



南湖の左富士

東海道歴史探訪17
 間の宿(茅ヶ崎)2
 2017.11.1



馬入一里塚跡の碑



⑧旧相模川橋脚



平成21年まで立っていた黒松の樹



平成24年に生まれ変わった黒松(切株)のモニュメント